



● 中之条町と連携して移住・定住支援を強化

先日、中之条町の移住定住支援を担う地域おこし協力隊・相田さんと意見交換を行いました。相田さんは町内の空き家利活用を中心に活動されており、現場での工夫や地域との関わり方など大変参考になるお話を伺いました。空き家には、相続や登記の整理、親戚間の話し合い、残置物の片付けや庭木の管理、老朽化による状態把握など多くの課題があります。こうした課題を一つずつ解決し、利活用の可能性を引き出すことが重要です。本村でも空き家調査を進めており、現在は4件の物件について利活用の方法を模索しています。移住者を受け入れる住宅不足は共通の課題であり、今後は町村の枠を越えて連携を図りながら、住まいの確保と地域の活性化に向けた取り組みを進めていきます。



こちら地域おこし協力隊

すずき ゆうや
鈴木 裕也



協力隊としての活動も5カ月が経ちました。現在は研修先での牛舎作業の他、飼料用トウモロコシの作付けと管理、収穫した際のコンサイレイジの作成などを学ば

せていただいています。牛は言葉を話せないためこちらがよく観察し、さまざまなサインやトラブルなどに気づかなくてはなりません。まだまだ見落とすことも多く、未熟さを痛感する毎日ですが、充実した日々を送らせていただいています。

皆さま、ぜひ1日1杯の牛乳を！



つきい ひろし
月井 寛



厳しい日照りや水不足が続いた日々が、今でも記憶に新しいです。農業は個々人の技術だけではなく、天候等の時の運にも左右される、非常に奥深い世界だと痛感しています。

研修を行う中で、私は「守破離」という考えを念頭に置いています。先達の考えや作業をまず忠実に護り基礎を身に付け、次にノウハウを取り入れた創意工夫を行い、最後に自分なりの型を見つけ創造の段階に入ること。これからも真剣に取り組み邁進してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

